

# 平成26年度江南市社会福祉協議会事業報告

## [総括]

今現在、地域で課題となっていることは、認知症の方の徘徊や行方不明の対応、障がい者の地域移行、消費者被害、支援を必要としつつも制度の対象にならない人々への対応、複数の福祉課題を抱えながらも支援が行き届かない世帯等が挙げられます。このような課題は制度だけでは解決できず、包括的かつ継続的な支援やネットワークの構築が求められています。

このような状況を踏まえ、本会は「ふくしー誰もが⑤だんの④らしの①あわせを実現できるまちづくり」を核とし、地域住民や区長・町総代、民生児童委員、ボランティア組織及び福祉団体や関係機関等と協働しながら、「1. 多様な住民の参画による助け合いと暮らしやすい地域づくりの推進」、「2. 総合相談支援体制及び地域で安心して暮らすための仕組みづくりの構築」、「3. 良質な福祉サービスの提供等」の3点を重点的に展開しながら「総合支援型社協」(コミュニティソーシャルワーク)の構築を目指してまいりました。

生活困窮者自立支援制度の施行に向けて、市行政と相談支援体制に向けての検討を進め、27年度から「生活困窮者自立相談支援事業」を受託するにいたしました。また同じく27年度に自己判断能力が乏しい方への権利擁護として、金銭・書類管理を行う「日常生活自立支援事業」の基幹事務が小牧市社会福祉協議会から移行することになり、事業の委託先である愛知県社会福祉協議会と3者で支援体制の検討を進めてまいりました。

また平成22年度から26年度を計画期間とした「第2次江南市地域福祉活動計画」の期間延長を視野に入れつつ、全ての人々が地域の中でいきいきと安心して暮らすことができるように、関係機関、団体等と連携・協働し、次の重点目標及び各種施策・事業の拡充に努めました。

## [重点目標の実施状況及び成果]

### 1. 多様な住民の参画による助け合いと暮らしやすい地域づくりの推進

#### (1) 実施状況

住民参加による地域福祉の推進を図るため、民生委員児童委員協議会、区長・町総代、共同募金委員会を始めボランティア組織等各種民間団体及び福祉施設と連携し、事業の効果的な推進に努めた。

#### (2) 成果及び今後の対応

○ふれあい・いきいきサロン(地域の生きがい・つどい場所づくり)において、26年度は新規6か所(高齢者5か所、障がい1か所)の立ち上げに寄与した。

○藤ヶ丘地区での地域づくりの支援として「ふれあいサロン藤ヶ丘」への参加や見守りボランティアの仕組みづくりに向けての話し合いに継続的に参加し、関係者とのつながりを構築することができた。

○江南市民生委員児童委員協議会「地域福祉部会」が新規に立ち上げられ、事務局として、先進地視察研修、ふくし江南ふれあいまつりのブース出展の支援を行い、民生委員児童委員活動の社会的な認知向上の寄与に努めた。

## 2. 総合相談支援体制及び地域で安心して暮らすための仕組みづくりの構築

### (1) 実施状況

関係機関、団体等と連携し、社会的支援が必要な方への総合相談支援体制の充実や地域で安心して暮らすための仕組みづくりの構築に向けて協議を行った。

### (2) 成果及び今後の対応

○江南市社会福祉協議会障害者相談支援センターの基盤を強化し、障がい者の地域移行及び地域定着支援（一般相談支援事業所）や障害福祉サービス等の適切なサービス利用（特定相談支援事業所）の支援を実施した。

○自己判断能力が乏しい方への権利擁護事業である、「日常生活自立支援事業」の基幹事務の移行に向けて、事業実施者である愛知県社会福祉協議会、基幹社協である小牧市社会福祉協議会と協議を行った。

○生活困窮者自立支援制度の本格実施に向けて、市行政と連携し、生活困窮者に対する包括的かつ個別的な支援体制の構築に向けて協議を行った。

## 3. 良質な福祉サービスの提供支援と福祉人材の確保と養成

### (1) 実施状況

個人の尊厳を基本とし、利用者の利益を保護し、質の高いサービス提供に努めた。

### (2) 成果及び今後の対応

○介護保険法及び障害者総合支援法の指定訪問介護事業者及び居宅介護支援事業者として、ホームヘルパー及びケアマネージャー等の人材確保及び研修を実施し、サービスの向上に努めた。

## 4. 法人経営基盤の強化

### (1) 実施概要

経済社会情勢の変化に対応した主体的な法人経営に努め、27年度からの社会福祉法人新会計基準の実施に向けた研究協議を進めた。

(2) 成果及び今後の対応

- 指定管理者として、老人福祉センター及び中央コミュニティセンターの適切な管理・経営を行うとともに、自主事業として「足腰弱らん教室」の回数を増やし、介護予防の推進に努めた。
- 27年度の事業受託等による人員体制の検討及び事務所の増設、社会福祉法人新会計基準の実施に向けた経理規程の全部改正を行う等、組織体制を充実した。

[各種施策及び事業]

1. 法人運営事業

本会の法人運営の基盤強化や円滑な運営、公聴広報活動に努めた。

(1) 理事会・評議員会及び監事会開催状況

理事会

会議区分	開催日 開催場所	議 題 等
第1回 理事会 出席10名 欠席5名	平成26年 5月21日(水) 江南市民体育会館	第7号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会評議員の選任について 第8号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会福祉サービスに関する苦情解決第三者委員(欠員補充)の選任について 第9号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会職員就業規則等の一部改正について 第10号 平成25年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業報告について 第11号 平成25年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支決算について 第12号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会福祉サービスに関する苦情解決第三者委員の選任について
第2回 (書面評決)	平成26年 6月23日(月) 江南市老人福祉センター	第13号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会副会長の選任について
第3回 理事会 出席13名 欠席1名	平成26年 12月18日(木) 江南市老人福祉センター	第14号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支補正予算(第1号)について 第15号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会定款の一部変更について 第16号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会経理規程の全部改正について

第4回 理事会 出席13名 欠席2名	平成27年 3月19日(木) 江南市民体育会館	第1号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会評議員の選任について 第2号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会定款の一部変更の一部変更について 第3号 平成27年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業計画(案)について 第4号 平成27年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般収支予算(案)について
-----------------------------	-------------------------------	--

### 評議員会

会議区分	開催日 開催場所	議 題 等
第1回 評議員会 出席31名 欠席9名	平成26年 5月27日(火) 江南市民体育会館	第4号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会理事の選任について 第5号 平成25年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業報告について 第6号 平成25年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支決算について
第2回 評議員会 出席32名 欠席8名	平成26年 12月25日(木) 江南市民体育会館	第7号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会理事の選任について 第8号 平成26年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計補正予算(第1号)について 第9号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会定款の一部変更について
第3回 評議員会 出席33名 欠席7名	平成27年 3月24日(火) 江南市民体育会館	第1号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会定款の一部変更の一部変更について 第2号 平成27年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業計画(案)について 第3号 平成27年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支予算(案)について

### 監事会

会議区分	開催日 開催場所	議 題 等
監事会	平成26年 5月8日(木) 江南市老人福祉センター	・平成25年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支決算について
中間監査	平成26年 11月25日(火) 江南市老人福祉センター	・平成26年度江南市社会福祉協議会事業収支計算の中間監査について

## (2) 社協会員の募集

区長・町総代のご協力のもと、一般会員、特別会員、法人会員の募集に努めた。また、市内福祉施設において施設会員、その他関係団体等においては特別会員の募集に努めた。

## (3) 共同募金運動への協力

江南市共同募金委員会と連携し、10月1日から12月31日の共同募金運動期間に、区長・町総代のご協力のもと、戸別募金、法人募金を募った。市内学校においては学校募金へのご協力をお願いし、またボランティアのご協力により市内スーパーや江南駅等での街頭募金を行い、民間の地域福祉財源の確保に努めた。

## (4) 職員衛生委員会の実施及び産業医による職員の健康管理の実施

職員衛生委員会を月1回開催し、産業医による職員面談、健康診断結果等の健康指導、衛生教育研修会の実施及び職員の労働環境の改善等の協議を行った。

産業医による職員面談：14名

衛生教育研修会：①熱中症及び脱水症の基礎知識及び対応方法について（7月）

②感染症対策について（1月）

職員の疲労蓄積度の把握：自己診断チェックリストの実施（11月）

## (5) 3市2町社会福祉協議会連絡協議会による連携

3市2町社会福祉協議会連絡協議会（江南市、犬山市、岩倉市、扶桑町、大口町）の緊密な相互連携により、26年度幹事社協である岩倉市社会福祉協議会の運営に基づき、各種情報交換及び研修に参加した。

開催日：①8月4日 ②9月19日 ③12月19日 ④3月19日

会議名等：①会長・事務局長会議 ②第1回経理事務職員勉強会 ③第1回職員研修会  
④第2回職員研修会

## (6) 尾張部社会福祉事業連絡協議会による連携

尾張部各市（23市）の社会福祉協議会及び民生児童委員協議会の緊密な相互連携により、理事として運営に参画し、各種情報交換及び研修に参加した。

開催日：①4月8日 ②4月18日 ③6月27日 ④8月20日 ⑤9月22日  
⑥10月29～30日 ⑦1月13日 ⑧2月18日 ⑨3月2日

会議名等：①監事会 ②総会 ③第1回事務局長会議 ④事務担当者先進地視察研修  
⑤第2回役員会 ⑥県外視察研修会 ⑦第2回事務担当者研究協議会  
⑧研究協議会 ⑨第2回事務局長会議

## 2. 退職金積立事業

専任職員の退職手当の支給を円滑かつ効率的に行うため、全国社会福祉協議会が実施している全国社会福祉団体退職手当積立基金を活用し、退職金の積立のための手続きを行った。

### 3. 地域福祉活動事業

地域におけるふれあい・いきいきサロンの推進、単独移動困難者への移送サービスの実施、江南市成年後見センターの適正な運営、民生委員児童委員協議会の活動に対して支援を行った。

#### (1) 高齢者ふれあい・いきいきサロンの実施

小地域（17サロン）において、ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者が気軽に出かけて仲間づくりを行ったり、活動等を行うことでいきいきと暮らせるための場づくりを実施した。

##### \*ほのぼのサロン（H15. 6～）

開催回数：月2回（第2・4金曜日）

開催場所：老人福祉センター

26年度実績：延べ844名（22回開催、平均38.3名）

##### \*ひまわりサロン（H16. 7～）

開催回数：月1回（第3水曜日）

開催場所：草井地区学習等供用施設

26年度実績：延べ420名（12回開催、平均35.0名）

##### \*古東サロン（H17. 7～）

開催回数：月1回（第1火曜日）

開催場所：古知野東公民館

26年度実績：延べ150名（12回開催、平均12.5名）

##### \*3R宮田サロン（H18. 8～）

開催回数：月1回（第3木曜日）

開催場所：宮田地区学習等供用施設

26年度実績：延べ264名（12回開催、平均22.0名）

##### \*菜の花サロン（H15. 4～） ※社協の支援開始はH19. 4～

開催回数：月1回（第4木曜日）

開催場所：布袋ふれあい会館

26年度実績：延べ302名（11回開催、平均27.4名）

##### \*さわやかサロン（H20. 5～）

開催回数：月1回（第3水曜日）

開催場所：古西公民館

26年度実績：延べ114名（10回開催、平均11.4名）

\*ジョイフルサロン (H20. 7～)

開催回数：月1回(第4水曜日)

開催場所：ジョイフル江南

26年度実績：延べ430名(12回開催、平均35.8名)

\*上奈良気ままサロン (H22. 1～)

開催回数：月1回(第2月曜日)

開催場所：上奈良公民館

26年度実績：延べ549名(12回開催、平均45.8名)

\*ふれあいサロンなごやか (H23. 4～)

開催回数：月1回(第1水曜日)

開催場所：山王集会所

26年度実績：延べ373名(12回開催、平均31.0名)

\*生き・いき・サロン前野 (H24. 10～)

開催回数：月1回(第2金曜日)

開催場所：前野公民館

26年度実績：延べ492名(12回開催、平均41.0名)

\*ふれあいサロン藤ヶ丘 (H25. 11～)

開催回数：月1回(第4水曜日)

開催場所：江南団地集会所

26年度実績：延べ798名(12回開催、平均66.5名)

\*ふじの郷サロン (H26. 1～)

開催回数：月1回(第4火曜日)

開催場所：ケアハウスふじの郷

26年度実績：延べ360名(12回開催、平均30.0名)

\*新開・ふれあいサロン (H26. 5～) ※26年度新規立ち上げ

開催回数：月1回(第2金曜日)

開催場所：新開公民館

26年度実績：延べ226名(11回開催、平均20.5名)

\*サロンいまいちば (H26. 5～) ※26年度新規立ち上げ

開催回数：月1回(第2木曜日)

開催場所：今市場公会堂

26年度実績：延べ96名(13回開催、平均7.4名)

\*サロンふじの会（H26. 10～） ※26年度新規立ち上げ

開催回数：月1回（第4火曜日）

開催場所：宮田学供

26年度実績：延べ200名（5回開催、平均40.0名）

\*サロン「あじさいの会」（H26. 10～） ※26年度新規立ち上げ

開催回数：月1回（第4水曜日）

開催場所：般若町公民館

26年度実績：延べ266名（5回開催、平均26.6名）

\*小脇生きいきクラブ（H26. 10～） ※26年度新規立ち上げ

開催回数：月6回（毎週火曜日及び第2・4土曜日）

開催場所：小脇会館

26年度実績：延べ299名（23回開催、平均11.0名）

## （2）ふれあい・いきいきサロンスタッフ交流会の実施

市内でふれあい・いきいきサロンを実施しているスタッフの方々を対象に情報交換や意見交換を目的に、交流会を実施した。

開催日：1月26日（月）

開催場所：江南市民文化会館

内容：市内サロンの現状についての報告、グループに分かれての情報交換、意見交換

参加者：60名

## （3）心に病のある方の居場所（フリースペース）づくりの実施

地域において、心に病のある方が気軽に出かけることのできる居場所である「ハートフレンズ」を行政、学識経験者、関係機関・施設・団体、ボランティアと協働体制で実施した。また月1回のハートフレンズ運営委員会に参画し、個別対応や運営について協議を行った。26年度は空色ファクトリーがフリースペース活動として運営する「Honwaka（ほんわか）」が新規に立ち上がり、活動を支援した。

\*ハートフレンズ（H20. 4～）

開催日：毎週金曜日

開催場所：愛栄ふれあいプラザ

26年度実績：延べ1,147名（51回開催、平均22.4名）

\*ハートフレンズ運営委員会

開催日：毎月第3火曜日

開催場所：江南保健所

協働機関：江南市福祉課、江南保健所、しらゆり・ワーク、藤花会（家族会）、精神保健福祉

ボランティアグループあい・愛、社協

\*Honwaka (ほんわか) (H26. 4～) ※26年度新規立ち上げ

開催日：毎月第2・4火曜日及び第1・3水曜日

開催場所：老人福祉センター

26年度実績：延べ502名（45回開催、平均11.1名）

#### (5) 移送サービスの実施

単独移動困難者を対象に、車いす対応福祉車両にて運転ボランティアの協力を得て実施した。また運転ボランティア同士や事務局との意見交換を目的に情報交換会を実施した。

実施件数：延べ342件／年      利用者数：延べ626名／年（ヘルパー同乗者を含む）

\*運転ボランティア情報交換会

開催日：12月15日（月）

開催場所：老人福祉センター

参加者：10名

#### (6) 江南市成年後見センターの運営

高齢者や障がい者等の権利擁護として、江南市成年後見センターの適正な運営を実施した。

<江南市成年後見センターの事業内容及び活動状況>

低所得者層の高齢者や障がい者で身寄りがなく、自己判断能力が不十分だった方への権利擁護のための支援を行った。

- ・成年後見制度や日常生活自立支援事業等の利用による相談及び手続きに関する支援
- ・市長申立の事務支援
- ・法人後見人等の受任
- ・成年後見制度等の普及、利用の啓発
- ・その他センターの運営に関し、必要な事業

法人後見の新規受任	3件
後見人等業務	10件
成年後見申立の事務支援	8件
権利擁護に関する相談	1件
後見制度の普及・啓発	6件

<日常生活自立支援事業の利用支援>

日常生活に不安を抱え、自己判断能力が乏しい方への権利擁護として、金銭・書類管理を行う「日常生活自立支援事業」について小牧市社協を基幹社協とし、江南市内の利用者及び生活支援員への支援を行った。

利用者（契約者）数：35名      生活支援員：14名

#### 4. ボランティアセンター活動事業

ボランティアセンターの機能強化を図り、市民のボランティア活動への理解と参加の促進に努めた。

##### (1) 登録ボランティアグループへの活動支援

福祉を主たる目的とした登録ボランティアグループ（17団体）の支援と情報提供及びボランティア活動保険の加入促進を実施した。

- ・当事者とボランティアグループの交流会の支援
- ・ボランティアグループの研修支援
- ・ボランティア同士の交流を図るボランティアサロンへの支援

##### (2) 各種ボランティア関連講座の開催

ボランティアグループの協力により、各種講座を開催し、ボランティアの育成に努めた。

###### ・点訳講習会の開催

点訳ボランティアグループたまづさ会の協力により、視覚障がい者への情報を点訳するためのボランティアを養成するために開催した。

開催日：5月14日～6月11日（計5回）

開催場所：老人福祉センター

内容：点字の基本的な打ち方について、視覚障がい者との交流

参加者：4名

###### ・聞こえのサポーター教室の開催

要約筆記サークル藤の協力により、難聴・中途失聴者へのコミュニケーション方法である要約筆記ボランティアを養成するために開催した。

開催日：6月7日～6月28日（計3回）

開催場所：老人福祉センター

内容：要約筆記の基本的な仕方について、難聴・中途失聴者の理解について

参加者：1名

###### ・書いて伝える体験教室の開催

要約筆記サークル藤の協力により、難聴・中途失聴者へのコミュニケーション方法である要約筆記を身近に感じてもらうために開催した。

開催日：7月26日

開催場所：老人福祉センター

内容：要約筆記体験、難聴・中途失聴者の理解について、ホワイトボードの作成等

参加者：2名

・福祉入門講座の開催

NHK学園サークルの協力により、「福祉」をテーマに、いきいきライフを実践するための講座を開催した。

開催日：9月18日～10月23日（計6回）

開催場所：老人福祉センター他

内容：講師を招いた講演会や施設見学等の実施

参加者：40名

・社協国際婦人の会講座の開催

社協国際婦人の会の協力により、地域における隣人同士のつながりの良さを深めるために、各種講座を開催した。

開催日：①5月25日 ②7月25日 ③10月20日 ④2月25日 ⑤3月11日

開催場所：老人福祉センター他

内容：①バスハイク ②健康体操（夏休み親子で遊ぼう） ③押し花手帳講座

④サロン交流会 ⑤料理講座

(3) ボランティア相談の実施

ボランティア活動を始めたい人、ボランティアを必要としている人のコーディネートを実施した。ボランティア相談員会議を定期的で開催し、情報共有を図るとともに、出張ボランティア相談も実施しボランティア活動及び社協事業の啓発を行った

相談日時：第2・4月曜日、毎週土曜日の午後1時30分～3時30分

相談日数：77日

件数：34件

(4) 西尾張ブロックボランティアフェスティバルの開催

全国ボランティアフェスティバルあいち・なごやの継承事業として、江南市社協は西尾張ブロック14市町村社協及びボランティア代表で組織された推進委員会として、西尾張ブロックボランティアフェスティバル推進委員会のボランティア代表及び社協職員との連携を密にしながら当日のボランティアフェスティバルを盛大に実施した。

開催テーマ：笑顔をありがとう

開催日：12月7日（日）

開催場所：飛島村中央公民館

内容：午前 ブース出展、福祉施設出店コーナー

午後 ありがとうコンサート（オーケストラ）

基調講演「笑顔をありがとう」 講師 小林良正 氏（浄土宗尼僧）

## (5) ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター運営委員による課題検討や事業報告、情報共有、意見交換等ボランティアに関わる事項についての協議を年6回開催した。

開催日：①5月24日 ②7月12日 ③9月20日  
④11月15日 ⑤1月10日 ⑥3月7日

主な議題：①平成25年度ボランティア相談の実施報告について  
②第6回ふくし江南ふれあいまつりについて  
③ボランティアグループ事業報告について  
④西尾張ブロックボランティアフェスティバルについて  
⑤第6回ふくし江南ふれあいまつりの進捗状況について  
⑥平成27年度のボランティアセンター関連事業について

## (6) ボランティア活動保険の受付等の実施

ボランティア活動者及び行事に係るボランティア保険の受付及び保険請求業務を実施した。

ボランティア保険加入者：2,640名（内登録ボランティアグループ会員：420名）

## (7) 備品機材の購入及び貸出業務の実施 ※26年度新規事業

地域福祉の向上に寄与することを目的に機材を購入し、ボランティアグループ及びサロン団体等への貸出業務を実施した。

購入機材：わたがし機1台、ポップコーン機1台

## 5. 一般募金配分金事業

市民からの善意によって集められた共同募金に対し、本会は受配団体として、第2次江南市地域福祉活動計画の実践、地域福祉事業の実施や福祉団体への支援、福祉教育の推進、要支援者への援護等、あらゆる地域福祉の推進に努めた。

- 地域包括支援センターが運営する江南市地域包括支援ネットワーク会議に事務局として参画し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの協議を行い、「江南認知症家族会」の支援や、認知症サポーター養成講座の講師役としての「江南認知症キャラバンメイト」の運営に関わった。また江南市が実施した「認知症徘徊者捜索訓練」に参画し、地域に対する認知症の啓発活動を行った。

### 【本会事業の広報および情報発信事業の推進】

#### (1) 機関紙「社協だより」の発行

社会福祉協議会の事業等を市民に周知し、福祉への理解と関心を高めることを目的として年6回発行した。

発行日：①4月1日号（153号） ②6月1日号（154号） ③8月1日号（155号）  
④10月1日号（156号） ⑤12月1日号（157号） ⑥2月1日号（158号）

発行先：市内全戸配布

内容：平成26年度事業計画・収支予算、平成25年度事業報告・収支決算、社協会員募集のお願い、社協事業紹介、各種講座の参加者募集・事業報告、福祉関係団体に関する情報発信、社協職員による江南市内の福祉活動取材報告等

(2) 第6回ふくし江南ふれあいまつりの開催

ボランティアグループ代表を主とした「ふくし江南ふれあいまつり実行委員会」を組織化し、福祉関係者、関係機関、市民活動団体等との協働しながら、多くの市民の方々への啓発、交流の場をつくり、ボランティア活動や福祉活動の理解、参加への促進を目的とし、当日は約230名の中・高校生がボランティアとして協力し、盛大に開催した。

開催日：3月1日（日）

開催場所：市民文化会館 全館

内容：開会式セレモニー（すみれ幼稚園児による音楽演奏）、子ども映画上映会、ミニステージ企画、ボランティア活動紹介・体験コーナー、福祉施設・団体紹介コーナー、子どもの遊び場広場、地域包括支援センター紹介コーナー、模擬店、ひだまりカフェ、スタンプラリー等

来場者数：2,000人

(3) ふくし江南ふれあいまつり実行委員会の運営支援

第6回ふくし江南ふれあいまつりの開催のために組織化された実行委員会の運営支援を行い、開催準備や円滑な当日運営に寄与した。

開催日：①6月28日      ②8月30日      ③10月18日      ④12月20日  
⑤1月31日      ⑥2月21日      ⑦3月28日

主な議題：①ふくし江南ふれあいまつりの開催要項について

②第6回ふくし江南ふれあいまつりの会場レイアウトについて

③第6回ふくし江南ふれあいまつりの運営方法について

④第6回ふくし江南ふれあいまつりの企画内容について

⑤第6回ふくし江南ふれあいまつりのポスター、チラシについて

⑥第6回ふくし江南ふれあいまつりの当日運営、準備について

⑦第6回ふくし江南ふれあいまつりの事業報告及び決算について

【高齢者福祉事業の推進】

(1) 敬老会の開催

江南市と共催により敬老会を実施し、祝い品の贈呈や記念式典を行った。

開催日：9月7日（日）

開催場所：江南市民文化会館大ホール

対象者：75歳の1,081名に2枚1組のタオルを贈呈した。

(2) 満100歳誕生祝及び結婚50周年を記念した事業の実施

江南市と共催により祝意を表し、祝い品の贈呈を行った

満100歳－10名      結婚50周年－134組

満100歳は現金、結婚50周年は夫婦湯のみを贈呈

(3) 高齢者団体への支援

江南市老人クラブ連合会や地区単位老人クラブへの団体活動支援及びスポーツ大会等の事業支援を行った。

【障がい児・者福祉事業の推進】

(1) 障がい者の余暇活動支援（青年学級）の実施

ボランティアグループ江南青年学級連絡会の協力を得て、障がい者の余暇活動を支援した。  
実施件数：隔月1回の日曜日にて実施

(2) 公募制障がい児・者生活支援事業助成の実施

共同募金の配分金を財源に地域でボランティア・市民活動団体等が資金援助を必要としている事業を公募し助成（公募性地域活動支援事業）を行った後、特に障がい児・者の地域生活支援に対し、継続性が必要な事業の支援を行った。

助成団体件数：1件（視覚障がい者パソコン学習グループありんこ江南）

(3) 障がい者施設地域交流事業助成の実施

共同募金の配分金を財源に江南市内の障がい者福祉施設が行う地域住民との交流を目的とした事業に助成を行い、地域における障がい者理解及び福祉施設における地域福祉推進を図ることを目的に実施した。

助成施設件数：4件（ときわ会、くるみの里、しらゆり・ワーク、たけのこ作業所）

【児童・青少年福祉事業の推進】

(1) 江南市子ども会大会における優良子ども会顕彰の実施

江南市子ども会連絡協議会より優良子ども会の推薦を受け、顕彰を実施した。

優良子ども会表彰：宮上こども会

(2) 児童公園遊具設置・補修支援事業の実施

区で管理する遊園地（公園）において、申請のあった区に対し、遊具の新規設置や補修に必要な費用を助成した。

助成自治区：古知野区愛栄町、小折区、宮後中区、五明区

(3) 子どもわんぱくキャンプ（ミステリーデイキャンプ）の開催

ボランティアグループ江南レクリエーション・キャンプカウンセラー協会の協力により、小学校4～6年生を対象とした1泊2日のキャンプ（8月）を予定していたが、天候不順のため開催中止とし、参加予定者であった児童を対象に日帰りデイキャンプ（11月）を実施した。

開催日：11月16日（日）

開催場所：各務原市少年自然の家

参加者：22名

### 【母子・父子福祉事業の推進】

- (1) 母子・父子家庭の小学校入学、中学校進学及び中学校卒業生徒の激励会の実施

開催日：2月21日（土）

開催場所：老人福祉センター

対象者：小学校入学56名 中学校入学90名 中学校卒業130名

### 【福祉育成援助事業の推進】

- (1) 公募制地域活動支援事業の実施

江南市内におけるボランティア・市民活動団体が行う事業や、草の根的な地域活動を実践する事業に対し公募にて申請していただき、プレゼンテーションによる審査会を実施し、団体が行う事業に対し共同募金の配分を実施した。

配分団体数：前期－4団体 後期－3団体

### 【福祉教育事業の推進】

- (1) 江南市社会福祉協力校事業の実施

江南市内小学校10校、中学校5校、江南高等学校、尾北高等学校、古知野高等学校、愛知江南短期大学を指定し、社会福祉体験活動を中心に取り組んだ。

- (2) 福祉教育プログラム開発モデル事業の実施

平成17～18年度に愛知県社協より2年間指定を受けモデル事業を実施したが、19年度より江南市社協による継続事業とし、門弟山小学校及び布袋北小学校を研究モデル校に指定し、今年度新たに布袋小学校を新規指定校とし実施した。

プログラム内容：総合的な学習の時間における福祉学習プログラムサポート事業

研究指定校：門弟山小学校1～6年生、布袋北小学校5年生、布袋小学校4年生

指定期間：1年間

- (3) 福祉実践教室の開催

学校における福祉体験活動メニューとして、学校からの依頼を受け、講師派遣の調整を実施した。

科目及び実施回数：車いす9回、手話10回、要約筆記4回、点字12回、視覚障がい者ガイド9回、盲ろう者通訳ガイド5回、高齢者擬似体験10回、知的障がい者理解促進軽スポーツ3回

実施校及び実施生徒：延べ13校 延べ3,545名

- (4) 夏休み福祉体験学習事業（短期ユースアクション事業）の実施

中学生・高校生を対象に夏休みに市内の福祉施設やボランティア活動などの福祉体験学習を実施した。

参加人数：延べ687名

(5) 子ども福祉塾の実施

小学校4～6年生を対象に車いす体験ツアーや福祉施設での当事者交流等の地域における福祉教育プログラムを実施した。

開催日：①9月14日 ②10月26日 ③11月23日 ④12月14日  
⑤1月18日 ⑥2月15日 ⑦3月15日

内容：①童話から「ふくし」を考えよう（協力者：子ども福祉塾サポーター）  
②車いすで町を探検しよう（協力者：くるみの里）  
③カードでふくし（協力者：子ども福祉塾サポーター）  
④お年寄りになってみよう（高齢者擬似体験）（協力者：さくら会）  
⑤知的障がい者の方と交流しよう（協力者：たけのこ作業所）  
⑥人形劇を演じてみよう（協力者：人形劇グループわらしべ）  
⑦子ども福祉塾を振り返ろう（協力者：江南レクリエーション・キャンプカウンセラー協会）

参加者：24名

(6) 社会福祉士実習の実習生の受け入れ

国家資格である社会福祉士の受験資格取得のための現場実習の受け入れを行い、学生への指導、評価を実施した。

受け入れ実施校：日本福祉大学2名、愛知淑徳大学1名

(7) 子どもフェスティバルへの参加

江南市と子どもフェスティバル運営協議会が主催した子どもフェスティバルに、江南市身体障害者福祉会聴覚部及びくるみの里の協力を得て、福祉体験ブースを開設した。

開催日：5月25日（日）

開催場所：すいとびあ江南

内容：手話で話そう（手話サークルあけぼの会、こけしの協力）  
車いすに乗ってみよう（くるみの里の協力）  
文字や絵で伝えよう（要約筆記サークル藤の協力）

(8) 介助犬PR事業の実施

社会福祉法人日本介助犬協会総合訓練センターに協力を依頼し、児童を対象に介助犬PR犬及び職員を市内小学校に招き、デモンストレーション等を実施した。

開催日：11月27日、28日、1月28日、29、30日（計5日間）

実施校：古知野東小学校、古知野西小学校、古知野南小学校、古知野北小学校、布袋小学校、布袋北小学校、宮田小学校、草井小学校、藤里小学校、門弟山小学校（計10校）

内容：身体障害者補助犬等の講話、介助犬PR犬によるデモンストレーションの実施

【社会的支援が必要な方への相談・援護事業及び市民生活の支援】

(1) 無料法律相談の実施

高齢者と障がい者を対象とし、主に権利擁護を中心とした弁護士による無料法律相談を実施した。

相談件数 高齢者：25件 障がい者：5件

(2) 一時援護金貸付事業の実施

一時的に生活費に困っている方に1万円（最高2万円）の貸付を行い、面接調査や生活指導を実施し、貸付対象者の生活状況の把握や自立支援に努めた。

貸付件数：34件 相談件数：49件

(3) 火事見舞金の支給

火事によって全焼及び半焼の被害があった世帯に対し見舞金の支給を行った。

支給件数：3件

## 6. 歳末たすけあい配分金事業

市民からの善意によって集められた歳末たすけあい募金に対し、本会は受配団体として社会的支援が必要な方への生活支援及びボランティアやふれあい・いきいきサロン活動を支援した。

(1) 歳末たすけあい募金配分金事業の実施

福祉的支援を必要とする方に対し、歳末たすけあい募金や市民福祉基金を活用し、金品（ギフトカード）の配布を行った。配布にあたっては民生委員にご協力いただいた。またふれあい・いきいきサロンやボランティアグループの歳末事業に配分を実施した。

(2) 高齢者ふれあい食事会の開催

古知野第一地区民生児童委員のご協力をいただき、ひとり暮らし高齢者を主な参加対象とした食事会を実施した。余興では門弟山保育園の園児と交流を行った。

開催日：11月21日（金）

開催場所：老人福祉センター

参加者数：139名

## 7. 福祉センター管理事業

指定管理者として江南市老人福祉センター（1階）及び江南市中央コミュニティセンター（2階）の適切な管理・経営を実施した。

(1) 老人福祉センター（1階）の利用状況

江南市内に居住する60歳以上の方が利用でき、健康の増進や教養の向上、老人クラブ等の地域間クラブ交流により、生きがいの場をつくることを目的に、老人福祉センターの会館管理を行うとともに、利用者ニーズを把握し施設利用の改善に努めた。

区分	個人	35,572名	1日平均	141.8名	開館日数	346日
	団体	13,486名				
	合計	49,058名				

## (2) 中央コミュニティ・センター（2階）の利用状況

各種コミュニティ組織による活動を活性化し、地域住民が快適で健全な日常生活が過ごせるような生活環境の整備、向上に資することを目的に中央コミュニティ・センターの会館管理を実施した。

(単位：名)

会場	第1和室	第2和室	会議室	集会室	講習室	実習室	計
計	6,060	5,530	14,608	7,297	4,459	11,675	49,629
1日平均	16.9	15.4	40.8	20.4	12.5	32.6	138.6

開館日数：358日

## (3) 老人福祉センター健康相談実績

老人福祉センターに看護師を配置し、希望する利用者の血圧測定等を実施するとともに健康に関する相談を行った。

合計	11,678名	1日平均	33.7名	健康相談	346日
----	---------	------	-------	------	------

## (4) 足腰弱らん教室の実施

原則65歳以上の高齢者を対象とした健康体操教室を自主事業として実施した。

実施日時：毎週火曜日及び木曜日（第5週を除く）9時30分～10時30分

実施場所：老人福祉センター 大広間

開催回数：93回

参加延べ人数：5,076人（1回平均 54.6人）

講師：鈴木浩樹氏（ローズ・リボン）

## 8. 生活支援通所事業

高齢者生活支援通所事業の受託運営を推進した。

### (1) 生活支援通所事業（デイサービス）利用状況

家に閉じこもりがちな65歳以上の高齢者に対し、車での送迎を行い、生活指導や健康状況確認、趣味の活動等を実施し、生きがいのある生活を送るための支援を行った。

延べ利用者数	696名	1日平均	4.8名	開館日	144日
--------	------	------	------	-----	------

## 9. ホームヘルパー派遣事業

ホームヘルパー派遣事業の受託事業を推進した。

### (1) ホームヘルパー派遣世帯数及び延べ派遣時間数

在宅のひとり暮らしの高齢者等で、介護保険の要介護認定で非該当（自立）と判定された方で生活上の支援が必要な方に、ホームヘルパー派遣を実施した。

利用者数	延べ 481名	派遣時間数	2,112時間30分
------	---------	-------	------------

## 10. 訪問介護事業

介護保険法及び障害者総合支援法に基づき、ホームヘルパーによるサービス提供を実施し、利用者の地域自立生活の支援を実施した。

### (1) 介護保険 訪問介護（ホームヘルパー派遣）事業実績

介護保険の要介護の認定を受けられ、江南市社会福祉協議会の訪問介護サービスを利用された方の月別の利用状況です。

(単位：名、時間)

介護予防		介護保険		合計	
人数	派遣時間	人数	派遣時間	人数	派遣時間
445	2843:14	509	8699:47	954	11543:01

### (2) 障害福祉サービス事業 訪問介護（ホームヘルパー派遣・移動支援）事業実績

身体・知的障がい児、者及び精神障がい者の方が江南市社会福祉協議会の訪問介護サービスを利用された方の月別の状況です。

(単位：名、時間)

ホームヘルパー派遣							移動支援		合計	
人数	派遣時間						人数	派遣時間	人数	派遣時間
	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	重度訪問	同行援護	計				
317	2385:04	1314:05	1030:45	498:55	12:10	5240:59	13	44:40	330	5285:39

### (3) 処遇改善事業の実施について

介護職員（ホームヘルパー）の処遇改善を実施した。

処遇改善の内容 ①賃金改善（一時金の支給 6月・12月・3月）

②介護職員の処遇 教育、研修、職場環境等の改善

## 1 1. 障害者相談支援センター事業

障がいのある方やその家族が、生活の中で直面する様々の課題に対し、解決方法等を相談を受けながら一緒に考え、改善のための方法が見つけれられるよう支援を行った。

### (1) 江南市基幹相談支援センター事業の一部受託

江南市が設置する江南市基幹相談支援センター事業の障害相談支援業務を一部受託し、障がいがあっても安心して地域で暮らせるよう、福祉サービスに関する情報提供や権利擁護に関する相談支援を行った。

相談支援利用者：156名（障がい者152名 障がい児4名）

#### ○支援方法

(単位：件)

訪問	来所相談	同行	電話相談	個別支援会議	関係機関	計
638	362	54	358	18	360	1,790

#### ○支援内容

(単位：件)

福祉サービス利用支援	健康・医療に関する支援	不安解消情緒安定に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	家族関係、人間関係に関する支援	その他	計
790	91	107	382	290	38	15	440	98	8	2,259

### (2) 障害福祉サービス等の利用計画の作成

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障がい児・者が給付サービスを利用する際にはサービス等利用計画の作成が必要になり、障害福祉サービス等の利用を希望する障がい者の総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し、作成を行った。

サービス等利用計画作成実績：55件

## 1 2. 居宅介護支援事業

介護保険法に基づき、ケアマネージャーがケアマネジメントを実施し、ケアプランの作成等の居宅介護支援を実施し、利用者の地域自立生活の支援を実施した。

### (1) 介護保険 居宅介護支援事業実績

介護保険の要介護認定を受けられ、江南市社会福祉協議会の居宅介護支援（ケアプラン作成、ケアマネージャー業務）のサービスを利用された方の月別の利用状況です。

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護予防	36	34	35	36	33	32	36	36	36	35	36	39	424
介護保険	81	82	84	88	92	97	95	94	97	91	92	96	1,089
計	117	116	119	124	125	129	131	130	133	126	128	135	1,513

## (2) 市受託事業

◎介護保険 訪問調査事業実績（介護保険認定審査会の第一次判定資料作成業務）

・江南市 年間延べ 116件

### 13. 暮らし資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会が実施する、暮らし資金貸付事業の相談窓口として、適正な事業運営を実施し、貸付対象者の生活状況の把握及び自立支援に努めた。

### 14. 生活福祉資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会が実施する、低所得者や障がい者世帯、高齢者世帯、離職者世帯への資金の貸付の相談窓口として、適正な事業運営を実施し、貸付対象者の生活状況の把握及び自立支援に努めた。

#### (1) 生活福祉資金貸付事業の実施

低所得者や障がい者世帯、高齢者世帯への各種資金の貸付と民生委員の協力による生活指導の実施を行った。

貸付件数：なし 現在の貸付件数：65件（内 総合支援資金：31件）

相談件数：14件

### 15. 市民福祉基金事業

相互扶助の高揚と寄付の啓発を図るとともに、市民福祉基金の有効な運用や活用に努めた。

寄付件数：27件

寄付金額：1,760,723円